

地域医療連携室だより

125号



平成27年1月5日 年頭挨拶風景

トピックス

- 平成26年度患者紹介実績報告
- 退院調整委員会の紹介
- 地域包括ケア病棟のご案内
- 病院食の冬メニュー
- 「薫風之音」コンサートを開催します
- 展示ギャラリー作品のご紹介

平成26年度

病診連携事業信楽園病院登録医連絡会議のご案内

日時：平成27年3月5日（木）午後7時～

場所：信楽園病院 7階大会議室

講演：大西医院神経内科・内科 大西 洋司 先生

信楽園病院 神経内科 下畑 光輝医師

※詳細は後日ご案内申し上げます

基本理念

- ・病める人の権利と心情を重んじ、信頼される医療を行います。
- ・質の高い医療を目指し、器機および療養環境の整備と
研修・研究・教育に努めます。
- ・急性期から在宅まで一貫した医療を推進するため、
地域および当院関連の医療・福祉施設と連携を深めます。
- ・地域住民の健康増進と福祉向上に貢献します。

信楽園病院広報誌 地域医療連携室だより125号

発行日 平成27年2月1日

編集 社会福祉法人 新潟市社会事業協会

信楽園病院 地域医療連携室

〒950-2087 新潟市西区新通南3-3-11

TEL025-260-8101 FAX025-260-8102

Http://www.shinrakuen.com

平成26年度患者紹介実績報告

地域医療連携室

日頃より患者様をご紹介いただきありがとうございます。

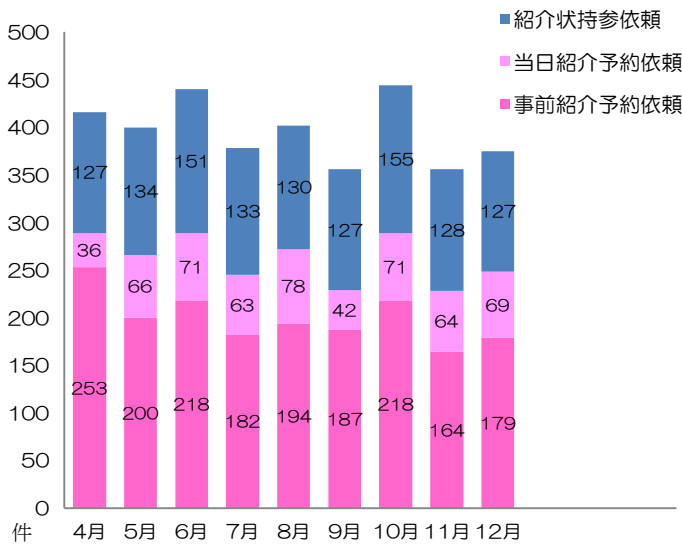
この度平成26年度の4月より12月の途中状況ではありますが患者動態を報告いたします。先生方よりご紹介いただいた紹介総数は3,567件となりました。

地域医療連携室へご連絡後の診療依頼および検査依頼は2,355件となり、前年同時期の2,101件より339件の増加となりました。

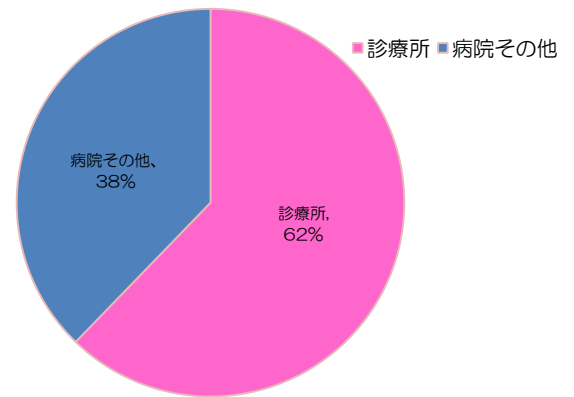
内訳としては、事前FAX・TEL依頼が1,795件、当日FAX・TEL依頼が560件、紹介状持参紹介が1,212件でした。211の診療所、128件の病院・その他医療機関よりご紹介いただきありがとうございました。

当院では地域の医療機関と機能分化、連携により患者様によりよい医療の提供を行いたく、今後とも地域医療連携室を通してのご予約をお願い申し上げます。

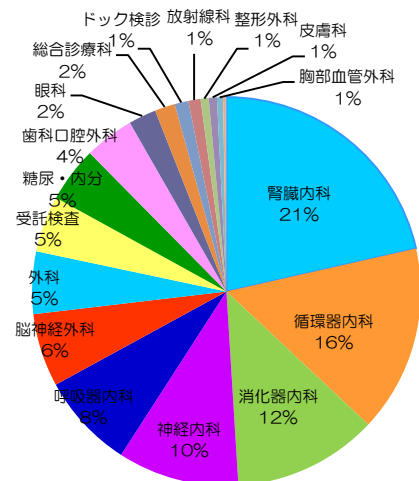
平成26年度紹介患者数（平成26年4月～12月）



平成26年度紹介医療機関内訳（平成26年4月～12月）



平成26年度診療科別内訳（平成26年4月～12月）



平成26年4月～12月 地域連携パス実績

《平成26年4月～12月》

《総数》

- ・CKD 地域連携パス 7件 H21年～66件
- ・虚血心疾患連携パス 14件 H24年～47件
- ・心房細動パス 52件 H24年～108件
- ・COPD 連携パス 19件 H25年～27件
- ・乳がん地域連携パス 3件 H25年～6件

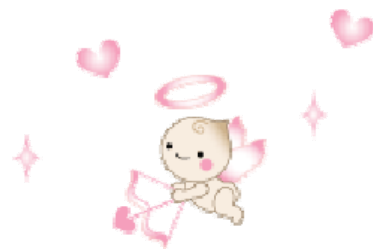
退院調整委員会の紹介

地域医療連携室看護師長 松井 昌子

超高齢化への道を歩むわが国において、2025年に向けた地域包括ケアシステムを目指すために、私たち病院スタッフに求められることは、「暮らしの場への療養移行」、「継続を支援する看護ケアのマネジメント」を提供することです。また、急速な高齢化だけでなく、独居や介護力のない老々世帯が急増しています。その多くの方が疾病や障害を持っても住み慣れた地域に住み続けたい、最期を迎えたいと望んでいます。それらを実現するのが地域包括ケアシステムです。宇都宮宏子氏は「退院支援・退院調整は患者様の人生の再構築を支援すること」と述べています。



当院の『退院調整委員会』は、平成20年に発足しました。この委員会は、「患者様とご家族が安心して生活の場に戻ることができ、退院後も継続した療養生活が送れるよう、その人に合った適切な援助が行える」ことを目的として活動しています。



メンバーは、病棟、外来、血液浄化療法室の看護師、医療ソーシャルワーカー、居宅介護支援専門員、理学療法士、訪問看護ステーションのスタッフと多職種から構成されています。月1回の会議で、退院支援・退院調整についての問題点や課題を共有し検討します。退院支援が必要な患者様を早期に把握する退院支援スクリーニングシートの検討、スタッフ向けの広報誌の発行、在宅歯科医療の推進、研修を行います。研修は定期的にスタッフ向けの勉強会を開催し、年1回各部署代表による発表会を行い、知識共有する場を提供しています。

2014年10月から7階東病棟にて、地域包括ケア病棟が稼働しました。

「病院完結型」の医療から「地域完結型」の医療へと転換する中で、退院調整委員会は、今までの活動を振り返り、地域包括ケアシステムのもと“住み慣れた地域で暮らし続ける”を支えるためにさらに活動を進めていきます。

宇都宮宏子：在宅ケア移行支援研究所宇都宮宏子オフィス代表

前京都大学医学部附属病院地域ネットワーク医療部師長・退院調整看護師

病

障

食

0

を

>

二

二

-

たらのクリーム煮

管理栄養士 宮島 央奈

〈1人前：エネルギー160kcal、たんぱく質23g、食塩0.8g〉

今の時期が旬のたらを使ったメニューを紹介します。エビを入れることでうまみも増し、彩りも良くなります。寒さが厳しいこの季節温かい料理を食べて体を温めましょう。ご家庭でも作って召し上がってみてください。



◆材料（1人前）

たら 100g・白ワイン 2g・むきエビ 20g・玉葱 20g・
マーガリン 3g・牛乳 20g・クリームシチュールー 5g・水 20g・パセリ 0.3g

◆作り方

- ①たらに白ワインをふって蒸します。
- ②エビは下茹でをしておきます。
- ③鍋にマーガリンを溶かし、食べやすい大きさに切った玉葱と②を入れ軽く炒め、水を加えて煮込みます。
- ④沸騰してきたら、シチュールーと牛乳を加えて、とろみがついたら火を消します。
- ⑤皿に①を盛り、④をかけ、上にパセリをふって完成です。

◆食材ひとくちメモ ◆

たらは12月～2月が旬といわれ、脂肪が少なく、良質なたんぱく質やカルシウムを多く含みます。身はやわらかく、加熱すると身くずれをおこしやすいので注意が必要です。鍋物や煮魚、フライにしてもおいしく召し上がれます。

地域包括ケア病棟のご案内

平成 26 年 10 月に当院 7 階東病棟を『地域包括ケア病棟』として運用を開始することになりました。それに伴いまして、5 階東病棟を糖尿病内分泌と消化器内科の混合病棟に変更いたします。

上記に伴い患者様に病棟の移動をお願いする場合がございます。その際には、ご協力をお願いいたします。

●地域包括ケア病棟とは

急性期医療を経過し病状が安定した患者様に対し、在宅や施設への退院支援を効率的かつ密度高く行う病棟です。

通常一般病床で病状が安定しますと、早期に退院をしていただくことになっています。しかし在宅での療養に不安があり、もう少しの入院治療で社会復帰できる患者様の為に、当院では地域包括ケア病棟をご用意し、安心して退院していただけるよう支援してまいります。

地域包括ケア病棟では医師や看護師、病棟専従のリハビリスタッフなどが患者様の在宅復帰に向けて治療・支援を行っていきます。また、病棟専任の社会福祉士が患者様の退院支援、退院後のケアについてサポートさせていただきます。

●どんな場合に入院する？

地域包括ケア病棟へ転院または転棟していただく場合は、主治医が判断し患者様、ご家族に提案させていただきます。ご了解いただけた場合に地域包括ケア病棟へ移動し、継続入院となります。

●入院費について

入院費は 1 日あたり定額で、リハビリテーション・投薬・注射・簡単な処置・検査・画像診断などの費用の大部分が含まれています。

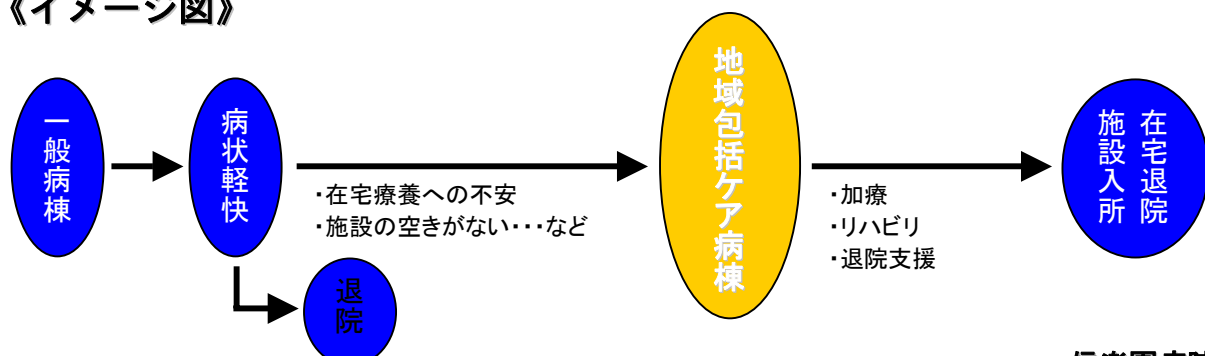
(※一部の医療行為については別となります。)

月の医療費の負担条件が加入保険により定められておりますので、一般病床の場合と負担上限は変わりません。

●その他

地域包括ケア病棟は保険診療上最大 60 日までとなっております。病状が安定しましたらご自宅、介護施設等へお戻りいただきます。また病状の変化により主治医が集中的な治療が必要と判断すれば、一般病棟へお部屋を変更する場合があります。

《イメージ図》



箏&尺八ユニット「薫風之音」コンサートを開催します



箏&尺八ユニット
「薫風之音」
コンサート

日時：27年3月24日(火)
15:00~16:00

場所：信孝園病院1階
外来ロビー

曲目：Let's Go 〜ありのままで〜
津路海峡-春景色
春の港 絶...オリジナル曲...

箏 ☆藤崎 陽子
尺八 ☆鎌岡 敬

ぴあアウトレイジ事務局
土曜・日・祝
〒200-0101

プロフィール

薫風之音（くんぷうのおと）

自らの思いを込めて作編曲し、演奏することで、心の琴線に触れる響きが生まれると感じた二人の和楽器奏者が2006年に結成。箏・尺八という日本の伝統楽器で、現代を生きる自分たちの思いや願いを表現する。二人の躍動感あふれる音のやり取りと気さくで軽快なトークは、見ても聴いても新鮮で楽しい。これまでに2枚のCDを発売。平成25・26年度りゅーとぴあアウトレイジ事業登録アーティスト。

<http://kunpu.office-isana.jp/>

展示ギャラリーのご紹介

1月に1階外来ロビーに展示いたしました「和紙ちぎり絵サークル」の展示作品をご紹介します。

